

今年のテーマは “<話す>と<リアル>に！！”

「人は経験に学び、経験していないことは他人ごと」になりがち。どうすれば「他人ごと」が「自分ごと」になるのでしょうか。実際に体験することはもちろん、いろんな人と顔を合わせて話していると、それぞれの経験に学ぶことができ「他人ごと」だったことが「リアル」に「自分ごと」になる経験をしたことはありませんか。
 <話す>を通して、世の中の<リアル>に接近！！

オープニング 8月2日（金）10：00～

話してリアルになったこと

HIV/AIDSだけではなく、いろんなことについて

～<話す>の意味は～<リアル>とは～

エイズ予防財団理事長 白阪琢磨
 神様がくれたHIV 北山翔子
 AIDS文化フォーラム in 横浜 岩室紳也 他



水谷修 夜回り先生講演会

8月4日（日）13：00～

夜回りを通して、夜の世界に生きる若者たちと何を話し、どのようなリアルを見てきたのか。夜回り先生が熱く語ります。



若者のリアルと本音で向き合った、“生”の“リアル”なメッセージ

回復を応援する共生社会とは

8月2日（金）15：30～

「共に生きる社会を」と言いつつ、罪を償った人がまだまだ排除し続けられている社会ではないでしょうか。再チャレンジができる社会になるために何が求められているのでしょうか。薬物依存症の第一人者と、実際に薬物使用で刑に服した人たちと共に考えます。



松本俊彦
（精神科医）



塚本堅一
（元NHKアナウンサー）



新堂慎二
（医師）

「マイノリティ」と「マジョリティ」

～生きやすい世の中とは～

8月2日（金）13：00～



かずえちゃん
（YouTuber）



宮崎豊久（インターネット専門家）

生きづらさの背景とは？



岩室紳也
（医師）

YouTube
LIVE配信予定

すきまミニ講座

期間中毎日12：20～



HIV/AIDSの基礎知識や「こんなこと聞いてもいいのかな？」にお応えします。

山田雅子（AIDS文化フォーラムin横浜運営委員）

すきまの時間だけど、とっても大切な情報伝えます！

宗教とエイズ

8月3日（土）

15：30～



平良愛香
（牧師）

現代社会で宗教が持つ意味とは？キリスト教、イスラム教、仏教の方々に様々な角度から医師が切り込む、フォーラムでしか聞けない本音トーク。

宗教だから見える「リアル」とは？



古川潤哉
（僧侶）

★HIV/AIDS(エイズ)、社会、文化、自分 つながりが見えるイベント★

様々な視点から・・・
 国際・文化・医療・教育・福祉・人権・セクシュアリティ・ジェンダー・犯罪などテーマは様々。一人ひとりを大切に、ともに生きる社会とは何かについて考えるフォーラムです。（2018年度は来場者延べ5,355人、イベントボランティア70人）

“文化”の2文字
 このフォーラムでは「文化」を大切にしています。HIV/AIDS（エイズ）の問題を単に医療の面だけでとらえるのではなく、私たちの生活＝「文化」と深く結びついているものだと考えています。

イベントボランティア大募集！

- 1日単位から参加できるボランティア
- 会場案内や受付などを担当します。事前説明会がありますので、どなたでもご参加いただけます。
- ・ボランティア活動証明書発行可能！
- ・仲間との活動！
- ・新発見、気づきのチャンス！

申込みページ [こちら→](#)



“話す”と“リアル”を実感！！

ボランティアの声～2018年ボランティア参加者～

会場整理等のボランティアは経験したことがなかったので、新しい発見ばかりで楽しかったです。（10代 高校生 学校でフォーラムのチラシを見つけて参加）

ボランティア活動をしながらいろいろなお話が聞けてよかったです。空き時間も展示コーナーのブースを回り知識を深めることができました。（20代 学生 学校の紹介で参加）

参加団体大募集！

- 発表団体
- 分科会で発表しませんか。講演会、ワークショップ、映画上映など、様々な方法で来場者へ「伝える」を実践できます。

申込みページ [こちら→](#)



パソコンの方はHPから申し込んでください！！

- 展示団体
- ブースで3日間展示できます。
- パネル、チラシ配布、物品紹介など、活動のアピールにご参加ください。

申込みページ [こちら→](#)



お問合せ：AIDS文化フォーラムin 横浜事務局
 〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7横浜YMCA内
 （担当：高村、白井）
 TEL：045-662-3721（代）
 URL：https://abf-yokohama.org/
 E-mail：abf@yokohamaymca.org